

## 安全にお使いいただくために



- このたびは H2V Manager をご購入いただきありがとうございます。
- 本製品をお使いいただく前に、本書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。

トヨタメディアサービス株式会社

〒460-0003  
愛知県名古屋市中区錦一丁目11番11号 名古屋インターシティ14階

2012年11月発行

HMJ1106-02

35012409-01

## H2V Manager安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守って頂きたい事項を記載いたしました。正しく使用するために必ずお読みになり内容をよく理解された上でお使いください。正しく長くお使い頂くために、次の事項を必ずお守りください。

### ■ 使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

- △ 危険**：死亡又は重傷の発生が想定されるきわめて高度な危険がある内容を示しています
- △ 警告**：死亡又は重傷の可能性が有る内容を示しています
- △ 注意**：中程度の障害や軽傷の発生、または物的損害だけの発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

- △は危険・警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容が描かれています。
- に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。
- の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。
- は、しなければいけない行為を示す記号です。
- の中や近くに、具体的な指示内容が描かれています。

### H2V Controller 使用・安全上のご注意

#### 【施工上のご注意】

#### △ 危険

- 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
- 活線工事はしないでください。感電や短絡による人身事故の恐れがあります。

#### △ 注意

- 次のような場所及び電路には取り付けしないでください。誤動作、寿命低下の原因となります。
  - 周囲温度が0℃～+40℃の範囲を超える場所
  - 湿度が20%以下または80%を超える場所、または結露する場所
  - 埃、腐食性ガス、塩分、油煙の多い場所
  - 振動、衝撃が強い場所
  - 雨、水滴のかかる場所
  - 日光が直接当たる場所
  - 電磁波やノイズが強い場所
  - 電源電圧が240Vを超える電路
  - 周波数が不安定な自家発電電路

- 電圧入力配線は、ブレーカーを介して本体端子に接続してください。配線が短絡または地絡した場合、火災になる恐れがあります。

- 端子には電線サイズに適合した電線を用いて接続してください。適合範囲外の電線を使用した場合、接続が緩みやすくなり誤動作、火災の原因となります。

- 本製品内部の端子から他の負荷機器などの電源をとらないでください

#### 【使用上のご注意】

#### △ 危険

- 本体を分解や改造をして使用しないでください。故障・感電・火災の原因となります。

#### 【保守・点検上のご注意】

#### △ 危険

- 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
- 点検は必ず電源を切にしてからおこなってください。感電や短絡による人身事故の恐れがあります。

#### 重要

- 本製品は省エネ目的の自主管理用です。取引や証明に使用することは法律で禁止されています。

#### お願い

- 清掃は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー等では拭かないでください。

### H2V Manager 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

#### 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

#### 不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
  - コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
- などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。従って、セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「H2Vサポートセンター」までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わずに使用した場合の問題をお客様が充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)  
「無線LANのセキュリティに関するガイドライン」より

### H2V Gateway 使用・安全上のご注意

#### △ 警告

- ACアダプターを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。
- 設置時に、ACアダプターを壁やラック(棚)などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具に近付けたり、過熱したりしないでください。
- ACアダプターを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- ACアダプターを接続したまま、機器を移動しないでください。

- 本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

- 煙が出たり変な臭いや音がしたら、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。

- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐACアダプターを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

- AC100V(50/60Hz)以外のACコンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

- ACアダプターは、ACコンセントに完全に差し込んでください。差し込みが不完全のまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

- ACアダプターは必ず本製品付属のものをお使いください。本製品付属以外のACアダプターをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

- 液体や異物などが内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。

- 風呂場や台所など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。

- 電源製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。けがをする危険があります。

#### △ 注意

- ACアダプターがACコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。感電の原因となります。

- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

- 次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因になったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。
  - 強い磁界が発生するところ(故障の原因となります)
  - 静電気が発生するところ(故障の原因となります)
  - 震動が発生するところ(けが、故障、破損の原因となります)
  - 平らでないところ(転倒したり、落下して、けがの原因となります)
  - 直射日光が当たるところ(故障や変形の原因となります)
  - 火気の周辺、または熱気がかもところ(故障や変形の原因となります)
  - 漏電の危険があるところ(故障や感電の原因となります)
  - 漏水の危険があるところ(故障や感電の原因となります)

- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、地方自治体にお問い合わせください。

#### 重要

- 本製品はH2V Managerの機器としてお使いください。万一、H2V Managerの機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。条例の内容については、地方自治体にお問い合わせください。

- 医療器人名に直接もしくは間接的にかかるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

- 本製品は日本国内のみで使用されることを前提に設計・製造されています。日本国外では使用しないでください。また弊社は日本国外の保守または技術サポートは行っていません。

### H2V Controller 無線モジュール内蔵について

本機器は電波法に基づく工事設計認証済みの無線モジュール(IEEE802.11b)を搭載しています。

### H2V Gateway 電波に関する注意

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと
- IEEE802.11a対応製品は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
- IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
- IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  - ①構内無線局(免許を要する無線局)
  - ②特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

